

屋久島町制10周年記念・縄文杉発見50周年記念・明治維新150周年記念

# 全国エコツーリズム大会 In 屋久島2018

## 大会概要報告



### 1 サブテーマ

「現状から未来へ向けて更なる飛躍を」

### 2 趣旨

屋久島が世界自然遺産に登録をされて24年が経過し、屋久島町エコツーリズム推進協議会が発足して13年が経過しました。この間、屋久島においては、観光基本計画・入山協力金・ガイド認定制度・エコパーク構想、里のエコツアーなどエコツーリズムに関する議論や活動が盛んになっています。しかし、屋久島を訪れる観光客は、2007年をピークに漸減している状況が続いています。そこで、本年度にエコツーリズム全国大会を屋久島で開催し、屋久島町内でのエコツーリズムの取り組みを全国に発信することで、屋久島・口永良部島への関心を取り戻し、観光客増加を期待するところです。また、屋久島内で島民の皆さんが、再度エコツーリズムについて議論を重ね、改めてお客様へのおもてなしや屋久島町の未来について語り合う場を創出していきます。

### 3 日時

平成30年（2018年）2月10日（土）～2月12日（月）

### 4 会場

屋久島町総合センター（メイン会場）ほか  
〒891-4311 屋久島町安房187番地1

### 5 主催者等

主催 屋久島町エコツーリズム推進協議会  
共催 屋久島町・特定非営利活動日本エコツーリズム協会  
後援 文部科学省・農林水産省・環境省・観光庁・鹿児島県・公益財団法人屋久島環境文化財団・公益社団法人屋久島観光協会  
屋久島商工会・種子屋久農業協同組合・屋久島漁業協同組合・日本エアコミューター株式会社・アサヒビール株式会社

参加者数：2日間延べ440人



# オープニングアトラクション



屋久島太鼓保存会  
曲目：益救神太鼓



# 開会式



主催者挨拶  
屋久島町エコツーリズム推進協議会 会長  
荒木 耕治



来賓挨拶  
鹿児島県知事  
三反園 訓



来賓挨拶  
日本エコツーリズム協会 会長  
愛知 和男





# 基調講演

感動のそばに、いつも。JTB

全国エコツーリズム大会 in 屋久島

## 持続可能なエコツーリズムとは？

2018. 2. 10

株式会社JTB 代表取締役会長  
一般社団法人日本旅行業協会 会長  
NPO法人日本エコツーリズム協会 副会長

田川 博己

Copyright (C) 2018JTB Corp. all rights reserved



# 問題提起

屋久島町制10周年記念・縄文杉発見50周年記念・明治維新150周年記念  
現状から未来へ向けて、新たな飛躍を。

## 全国エコツーリズム大会in 屋久島 問題提起

2018年 1月 10日

NPO法人日本エコツーリズム協会 理事  
公益社団法人屋久島観光協会 理事 松本 毅





# コアタイム

コーディネーターによる各分科会の紹介時間



第1分科会 山田佳一郎



第2分科会 田中俊徳



第3分科会 寺崎竜雄



第4分科会 江崎貴久



第5分科会 松田光輝

# 交流会



# 第1分科会

参加者：25名

## 観光基本計画「屋久島の将来像」



コーディネーター  
パネリスト

観光庁観光カリスマ  
鹿児島県観光プロデューサー  
屋久島町商工観光課 課長  
屋久島観光協会 理事  
屋久杉自然館 別館

山田 桂一郎  
古木 圭介  
松本 薫  
松本 毅

場所

## 第1分科会 まとめ

- 共通認識として「多様な参加者の話し合いの場」は大切
  - 未来を生きる子どもたちの参加も
- 「観光」は手段であって目的ではない
  - なんのために「35万人の観光客」が必要なのか？
  - マスタープランをより明確にする
  - 屋久島に現地化されたマーケティングとブランディングを考える
- 「多様な立場を包括するオール屋久島で掲げる理念とは何か」
  - この議論が深く、広く必要であり、今後の継続が課題
  - 地域としてのトータルのマネジメントが必要



# 第2分科会

参加者：48名

## エコパーク構想「口永良部島を中心にエコパークを考える」



コーディネーター

東京大学 特任助教

田中 俊徳

パネリスト

(公財)イオン環境財団 事務局長

山本 小百合

京都大学 総長

山極 壽一

口永良部島 区長

貴船 森

場所

屋久島世界遺産センター

## 第2分科会 まとめ

- 口永良部島は、「学びの島」、「学生の島」として、交流人口の増加・持続を目指す。特に、高校生や大学生など、若い人を対象とした教育拠点になれないか。
- サービス対価型ではなく、参加型・発見型の滞在を提供する
- 屋久島高校はじめ、屋久島との繋がりも強化していく。高大連携や調査活動など、やり方は色々である。
- 今回出た様々な意見を、BR管理計画としてまとめることで、実施・支援に繋げたい。

# 第3分科会

参加者：16名

環境保全と協力金「現状と協力金のあり方について考える」



コーディネーター  
パネリスト

(公財)日本交通公社 理事  
株式会社合力 代表取締役  
京都大学 農学研究科教授  
屋久島公認ガイド

寺崎 竜雄  
近藤 光一  
栗山 浩一  
満園 茂

場所

屋久島環境文化研修センター

## 第3分科会 まとめ

-屋久島モデルから学ぶ-

ガイド

討論の歴史

高い理念

-発展に向けて-

情報発信

地域住民との協働

エコツーリズムの島



# 第4分科会

参加者：35名

地域としての取り組み「里のエコツアーや1次・2次産業と観光業の関わり」



コーディネーター	海島遊民クラブ 代表	江崎 貴久
パネリスト	飯能市エコツーリズム推進協議会 会長	平井 純子
	株式会社やわら香 代表取締役	渡辺 優子
	一湊はめつけ隊 隊長	中島 一孝
場所	屋久島環境文化研修センター	

## 第4分科会 まとめ

### 【地域としての取り組み】

- 経済—資源の利用(主材・副材・廃材)
- 社会システム—生活の土台として支えてくれる仕組み  
→「なぜ住むのか？」文化力。経済が悪くても支えてくれる。

先進地として失敗と試みを共有し、  
あらゆる人を仲間に  
零線に触れる文化力に寄与する歯車として継承する



# 第5分科会

参加者：22名

ガイド登録認定制度について「認定制度を考える」



コーディネーター	知床ネイチャーオフィス 代表取締役	松田 光輝
パネリスト	(公社)日本山岳ガイド協会 常務理事	武川 俊二
	奄美大島エコツアーガイド連絡協議会 会長	喜島 浩介
	屋久島町商工観光課 課長補佐	木原 幸治
場所	屋久島町総合センター	

## 第5分科会 まとめ

### ・ガイド認定制度だけではむずかしい

認定制度だけではなく、ガイド利用者、地域住民への周知(社会に対して認知度をあげる)。  
地域住民へのPR活動をより推進していくべき。

### ・ガイドの育成制度

屋久島では、テキストはガイドが書いて、監修は専門家、認定は行政。→将来はガイド自身で(信頼関係の構築)。  
現状:屋久島には研修制度がない。

新人育成:ライバルをガイド自身が育てることに疑問。でもガイドが増えることは客が増えることにつながる。

公認ガイドを講習会講師や地域イベントで活用。

### ・ガイドという産業

公認ガイドは「安全」は提供できているが「安心」まではまだ不十分。

評価・アンケートによる評価システムが必要。

客観的で公平な制度を作るべき。そのあとガイドが反省、成長、学び続けていかなければいけない。

# 分科会報告会



# 大会宣言とりまとめ



## 「全国エコツーリズム大会in屋久島」大会宣言

町政推進の指針となる屋久島憲章では「この島の自然と環境を私たちの基本的資産として、この資産の価値を高めながら、うまく活用して生活の総合的な活動の範囲を拡大し、水準を引き上げていくことを原則としたい」とエコツーリズムの姿勢を示している。

屋久島町制施行から10年・縄文杉が発見されて50年・明治維新から150年というこの節目の年に私たちは、屋久島町の姿を振り返り大いに議論してきた。

世界自然遺産に評価された屋久島と全島が国立公園でユネスコエコパークである口永良部島の美しい自然景観と豊かな生物多様性を人類共通の財産として後世に受け継ぎ、「いつでも・どこでも・おいしい水が飲め、人々が感動を得られるような水環境の保全と創造を維持できる」ことを大きな目標として、世界自然遺産25周年目を迎えようとするこの年に、私たちは次のことを決定した。

### 1 観光基本計画の実現

屋久島町観光基本計画に謳われた基本理念である「エコツーリズムによる世界自然遺産『屋久島』の価値創造と観光立町」の実現を目指して、町民・行政・来訪者が積極的に取り組んでいきます。

### 2 屋久島町エコツーリズム推進全体構想の認定

環境保全と協力金の在り方や地域と一体となって基本理念を推進するために「エコツーリズム推進法」に基づく全体構想の認定がされるように全町を挙げて再度取り組んでいきます。

### 3 ユネスコエコパークを活用したまちづくり

爆発的な噴火があった口永良部島の復興をより強力に推し進めるために、管理運営計画を策定しユネスコエコパークを活用したまちづくりを目指します。

これらを私たちは、島民だけの宝ではなく、全国、全世界の人々の宝として認識し、柔軟に力強く誇りをもって取り組んでいくことを宣言する。

平成30(2018年)年2月11日  
全国エコツーリズム大会in屋久島参加者一同

